

はまだ議会だより mini

社会参加から就労自立までの一体的な支援を視察

福祉環境委員会では、所管事務調査のテーマとして取組んでいる「就労支援を含めた障がい者支援について」を具現化するために、先般豊田市および座間市が取組まれている、社会参加から就労自立までの一体的な支援の取組について視察しました。豊田市では令和3年度から重層的支援体制推進事業を実施しており、一連の流れによる支援とさまざまな



支援機関が協力し合う連携体制の下の支援を研究しました。

座間市では「断らない相談支援」の取組や市民が安心して相談できる体制、さらには市としてもあらゆる相談への対応ノウハウについて研究しました。両市の共通部分として、福祉の課題は地域の課題であり、その解決のためには民間組織や中間支援組織との合同会議の開催やその会議を進行するファシリテートなどの組織・団体とつながる

(つなげる) コーディネート力が必要であると感じました。(福祉環境委員会)

決算審査に向けて

最近の議会だよりなどで報告してきましたが、議会改革推進特別委員会では議員選出監査委員の廃止について検討し、議選監査委員は必要であると判断しました。

9月定例会議は前年度の決算審査です。今回議会と監査をつなぐ初の試みとして、定例会議初日の全員協議会で現在の議選監査委員から令和4年度

決算審査意見書における決算審査、財政状況などの説明を受け、各議員がより理解を深めて審査に臨むことができました。

(議会改革推進特別委員会)



議員のつぶやき

“ツバメの旅立ちの日”

以前は100羽近く見え、今年は15羽の旅立ち。親鳥は子育てに一生懸命でヘビなどが近づくと人に知らせ、助けを求めます。巣立った後、しばらくいなくなり、稲刈り時期に突然現れ、生まれた場所を見ながらにぎやかに話している。明日は旅立ちの日かな？手を振って別れを！
(上野茂)



議長日誌

9/8 砕氷艦「しらせ」入港

「しらせ」が10年ぶりに浜田港に入港しました。「しらせ」は南極への人員・物資の輸送や観測など、地球環境の研究・保全に多大な貢献をしています。子どもを含む多くの市民が船内の様子やさまざまな設備を見学されたと伺いました。南極の氷を砕きながら力強く進んでいく「しらせ」の光景を想像されたことでしょう。

